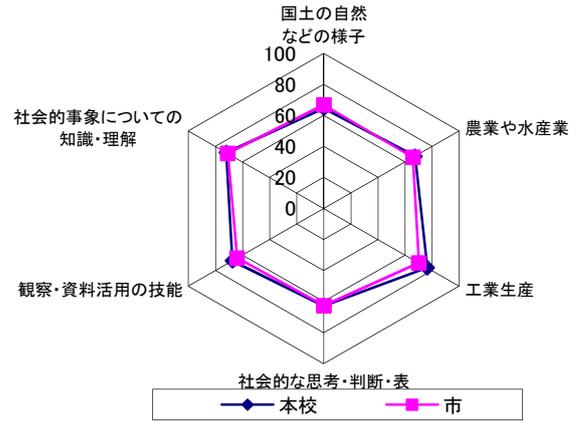


宇都宮市立海道小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|-----|------------------|------|------|
| | | 本校 | 市 |
| 領域別 | 国土の自然などの様子 | 64.6 | 66.7 |
| | 農業や水産業 | 67.3 | 65.8 |
| | 工業生産 | 76.3 | 70.2 |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現 | 62.7 | 62.7 |
| | 観察・資料活用 of 技能 | 67.5 | 64.1 |
| | 社会的な事象についての知識・理解 | 72.0 | 70.9 |



★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|------------|--|--|
| 国土の自然などの様子 | <ul style="list-style-type: none"> 市の正答率に比べ本校の正答率は、2.1%下回った。日本や世界の地形や名称など知識理解・技能面を問う問題では、おおよそ定着していると言えるが、日本の気候について資料をもとに判断するなどの思考力・判断力・表現力を問う問題では、正答率が低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常的に地図帳を活用することで、地図帳を活用する力を育てるとともに、日本の細かな地形や位置について名称を覚えさせる。 資料から社会的な事象を調べたり、考えたりする指導をより多く行い、思考力・判断力を育てる。 |
| 農業や水産業 | <ul style="list-style-type: none"> 市の正答率に比べ本校の正答率は、1.5%上回った。水産業に関する問題では、市の正答率を全ての問題で上回ったが、農業に関する問題では、正答率が下回った。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常的に、日本の食料問題に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 日本の農業についての知識の確認をし、定着を図る。 |
| 工業生産 | <ul style="list-style-type: none"> 市の正答率に比べ本校の正答率は、6.1%上回った。自動車をつくる工業についての問題では、高い正答率であった。複数の資料をもとに、学習問題をつくる問題では、正答率が低く、課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の工業についての知識を確認し、定着を図る。 疑問の解決から始まり、疑問で終わるような授業を展開することで、授業の終末の疑問は、自分で調べて次時の学習に生かしていこうとする学習姿勢を身につけさせる。 |
| | | |
| | | |
| | | |